

図書館だより

発行 滝上町図書館

0158-29-3735



新しい雑誌が入りました！

2025 年 4 月から、新たに「素敵なあの人」という雑誌が入荷します。「年を重ねて似合うもの 60 代からの大人の装い」のキャッチコピーからも分かる通り、図書館にはなかったシニア世代のファッション雑誌です。ぜひ借りてみてください。



5 月コミュニティカフェのご案内

①手づくりあそびの会

「わりばしてっぽうを作ろう！」

日時：5 月 31 日（土）午後 2 時～4 時半

みんな大好きわりばしてっぽうを図書館で作ってみましょう！

お祭りの屋台にある射的の練習用にみんなで作ってみましょう。

ぜひご参加ください。



②切り紙講座

日時：5 月 17 日（土）午後 1 時～午後 3 時

講師：真貝 眞さん（真貝林工）

参加費：新規の方のみ 500 円

（デザインカッター代など）

申込み締切：新規の方のみ 4 月 10 日（土）

参加人数：10 名まで

真貝眞さんが開く切り紙講座。約 1 年ぶりの開催となります。

真貝さんに切り紙を教わり、思い思いの作品を作り上げてみましょう。

新しくやりたい人も大歓迎！ぜひご参加ください。



あたらしく入った本

（小 説）

謎の香りはパン屋から 土屋うさぎ
第 23 回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作
小説 野崎まど

「物語に救われ、読書に呪われた」 2025 年本屋大賞第 3 位！
すべての、白いものたちの 韓江

2024 年ノーベル文学賞受賞作！
近畿地方のある場所について 背筋
現実と虚構が混じりあう。リアルに侵食するホラー小説。

楽園の楽園 伊坂幸太郎
伊坂幸太郎デビュー 25 周年記念書き下ろし作品。

（その他）

東大物理学者が教える「考える力」の鍛え方 上田 正二

表面的ではなく、本当の意味での「伝える力」とは何か？
ガザの光 リフアト・アルアライ

パレスチナ人作家たちが“未来”に向けて遺したメッセージ。
警察官のこの日記 安沼保夫

ベストセラー日記シリーズ累計 69 万部突破！

産む気もないのに生理かよ！ 月岡ツキ
母になるかどうかの選択は、私を決定付けるものではない

社会教育委員が贈る 読書三徳

「八月の銀の雪」 伊予原 新・著 新潮社

遠軽町白滝を舞台にした「星隕つ駅通」が含まれる短編集「藍を継ぐ海」で直木賞を受賞した著者の短編集です。伊予原氏は東京大学大学院理学系研究科で学んだ方で、その深遠な知識を基に登場人物の日常を自然科学の事象に結び付け、その心情や考え方の変化を深くそして読者に染み入るように物語を紡ぎます。この本の表題の「八月の銀の雪」は地球の内部の構造を通して人間の奥深さ、人の見方の変化が伝わってくる佳作です。また「十万年の西風」という物語では風による気象観測から太平洋戦争と原発問題にまで話が広がる考えさせられる話でした。私がこの著者の作品に興味を持ったのは「宙わたる教室」という本を読んだからです。NHK でドラマ化されたのでご覧になった方もいるのではないのでしょうか？「学ぶ」とは「勉強する」とはどういうことかを考えさせてくれるとても良い物語でした。このことを図書館で話すと「その作者の本は何冊かありますよ」と紹介してくれた 1 冊がこの「八月の銀の雪」です。いい本を紹介してもらいました。皆さんも何か本が読みたくなったら図書館で相談することをお勧めします。（山崎委員）

